

XLP12-3S-H2-D0

最大3 Wまでのレーザー出力測定用サーモパイルディテクタ。



プロダクトファミリーの主な特長

低パワーサーモパイル

広帯域を持つフォトディテクタのノイズレベルと、サーマルデバイスのハイパワー能力

最小サーマルドリフト

6 $\mu\text{W}/^{\circ}\text{C}$ (IRフィルタで)

高感度

200 mV/W (IR フィルタなし)

超短パルス用特別モデル

VP (ボリウム・アブソーバー)バージョンは、超短パルス(ps及びfs)の低出力レーザに最適です。

IRフィルタ(XLPF12モデル)

不要な赤外線干渉を除去

分離チューブ

乱気流によってつくりだされる電源変動を除去

互換性のあるスタンド

[STAND-S-233](#)



仕様

測定性能

最大平均出力(連続)	3 W
最大平均出力(1分)	3 W
ノイズ等価出力 ¹	0.5 μW
スペクトル領域 ²	0.193 - 20 μm
標準上昇時間 ³	2.5 s
出力較正不確か率 ⁴	$\pm 2\%$
繰り返し性	$\pm 0.5\%$
熱ドリフト ⁵	12 $\mu\text{W}/^{\circ}\text{C}$

1. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
2. 較正済みスペクトル域については、ユーザーマニュアルを参照してください。
3. 予測付。
4. 出力による線形性を含む。
5. MAESTRO搭載。

測定性能(エネルギーモード)

最大測定可能エネルギー ¹	5 J
ノイズ等価エネルギー ²	12 μJ
最小繰り返し期間	16 s
最大パルス幅	300 ms
エネルギー較正不確か率 ³	$\pm 5\%$

1. 360 μs パルス用。長パルス(ms)により高いパルスエネルギー、短パルス(ns)により低いパルスエネルギーが可能。
2. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
3. 単発エネルギー較正をお求めの場合

損傷閾値

最大平均出力密度 ¹	1 kW/cm ²
最大エネルギー密度 ²	1 J/cm ²

1. 1064 nmで、1 W CW。May vary with wavelength and average power.
2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。May vary with wavelength and pulse width.

物理的特徴

冷却	対流
開口直径	12 mm
吸収材	H2
寸法	73H x 73W x 20D mm (72D mm with tube)
重量	0.31 kg
注文情報	
XLP12-3S-H2-D0	201032
XLP12-3S-H2-INT-D0	202609
XLP12-3S-H2-BLU-D0	203544
XLP12-3S-H2-IDR-D0	203391

仕様は予告なく変更される場合があります。仕様の全容については、ユーザーマニュアルを参照してください。

本製品にご興味をお持ちですか？

見積をリクエスト

gentec-eo.com/ja/contact-usで最寄りのセールス担当者をお探してください